



もがみ 仕事の魅力通信



2022
Vol.16
R5 1月

「もがみ仕事の魅力通信」とは、最上総合支庁と企業等が連携して行う最上地域の人材育成・地元定着に向けた取組みをお知らせする通信です



ふるさとをまもり未来をつくる土木技術者のはなし

@新庄神室産業高校

10月27日、県立新庄神室産業高等学校を会場に、新庄・最上ジモト大学「ふるさとをまもり未来をつくる土木技術者のはなし」を開催し、高校生38名（神室産業高校2年生17名、新庄南高校2年生2名、新庄東高校2年生19名）が参加しました。第1部のパネルディスカッションでは、最上地域で意欲的に建設業に携わる若者4人から、写真とリアルな会話で仕事の充実感・やりがい・夢などを紹介いただきました。第2部の意見交換では、進路選択を控えた高校生と、地元で働く先輩の山形県建設業協会最上支部青年部員の方々と職場環境などについて意見交換を行いました。

<第1部 パネルディスカッション>

■パネリスト



田邊 かな代 氏(沼田建設株式会社)
採用14年目 主な仕事:建築工事施工管理

家族に女性だからという心配はされたが最終的には理解をいただいた



廣野 史也 氏(沼田建設株式会社)
採用6年目 主な仕事:土木工事施工管理

豪雨での増水であわや現場が水没の危機となり、自然の恐ろしさを実感した



五十嵐 智仁 氏(株式会社柿崎工務所)
採用7年目 主な仕事:重機オペレーター

土日しっかり休めるので高校生活の時間サイクルとそんなに変わらない



渡部 新 氏(株式会社新庄・鈴木・柴田組)
採用7年目 主な仕事:現場写真管理、測量等

インターンシップに訪れた会社の雰囲気が良かったのが入社きっかけ

<第2部 意見交換会>



高校生から寄せられた意見

- 建設業についてのイメージが変わった。
- 建設業はブラックじゃない、ホワイトだ。
- 資格がとても大事だと思った。
- 自分達はまだ若いから何でもできる事がわかった。
- 地元は好きだけど外に出たい。
- 県外で学んで地元で働きたいと考えている。
- 結構マイナスなイメージがあったり、絶対に行かないであろう仕事だろうって自分で思っていたけど、話をしてくれた人たちもとてもフレンドリーだったり、楽しく話を聞かせてもらって、建設業に対するイメージなどが良くなった。
- 仕事の大変さだけでなくやりがいや仕事の良さが改めて感じられた。
- 土木技術者のことはもちろん他の仕事でも使えるようなことを学んだ。
- 建設業は土日休み。女性も多くなってきている。
- これからの高校生活でした方がいいことなど多くのことを学んだ。
- 将来のことをより考えられるようになった。



問い合わせ先

発行日:令和5年1月

山形県最上総合支庁 建設総務課 ☎ 0233-29-1391

✉ ymogamikensetsu@pref.yamagata.jp